

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： データ駆動型材料探索に立脚した新規半導体・誘電体の加速的開拓

2. 研究代表者： 大場 史康 （東京工業大学科学技術創成研究院 教授）

3. 中間評価結果

計算・データ科学を潤沢に活用して実験を進め、種々の記述子の有効性を確認することで、順当な成果が効率的に得られている。また、若手研究者の明確な寄与も少なくないなど、概ね順調に進展している。

しかしながら、このアプローチは既に国際的に多くのチームが採用しており、このままで推移すると「革新性」が明確に見えなくなってしまう懸念もある。成果を小さくまとめるのではなく、大胆な発想によるモデル化や、特性の尖った物質・意外性のある物質を見出すことに力点を置くなど、新しい試みが必要である。現時点で実験グループから大きな成果が生み出されているとは言えないものの、ジャンプに繋がる可能性を秘めた種は見出されており、それから花が咲くよう精進していただきたい。